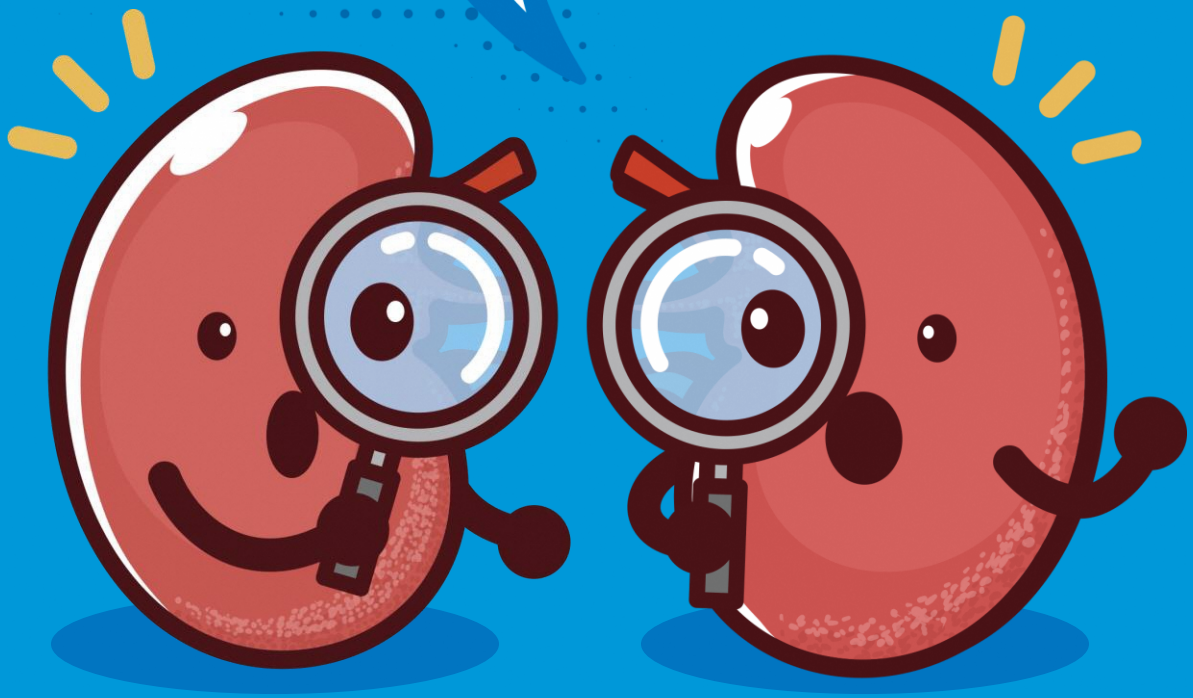
【監修】 医療法人 八田内科医院
院長・腎臓専門医 八田 告 先生

その腎臓の数値 見逃してませんか?



eGFR、蛋白尿を確認しましょう!

eGFRとは

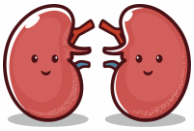
腎臓の働きを表す検査値で、血液から老廃物を取り除く力を示しています。CKD（慢性腎臓病）などの腎疾患かどうかを評価する重要な指標の1つとされています。

腎臓からの大切なメッセージかもしれません

腎臓の検査値を意識したことはありますか？　腎機能の低下は気づきにくく、自覚がないままCKD（慢性腎臓病）へ進行することがあります。放置すると、心筋梗塞や脳卒中などの心血管疾患のリスクが高まることが分かっています※。だからこそ、早めの対策が大切です。

※ Matsushita K, et al. Lancet. 2010 ; 375(9731) : 2073-81.

CKD（慢性腎臓病）に関する詳しい内容は裏面へ



Ⓒちゃんと
Ⓚ確認が
Ⓓ大事!!

Boehringer Ingelheim

CKD（慢性腎臓病）に関する情報を
静岡県公式ホームページに掲載しています！

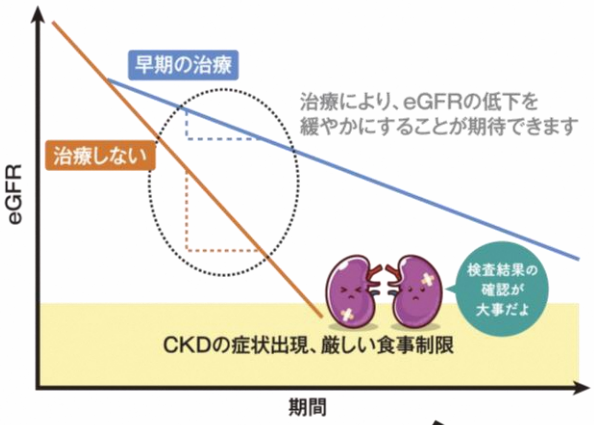
静岡県と日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社は「静岡県における慢性腎臓病対策に関する連携協定」を締結し、
CKD（慢性腎臓病）の重症化予防に取り組んでいます

成人のおよそ
5人に1人

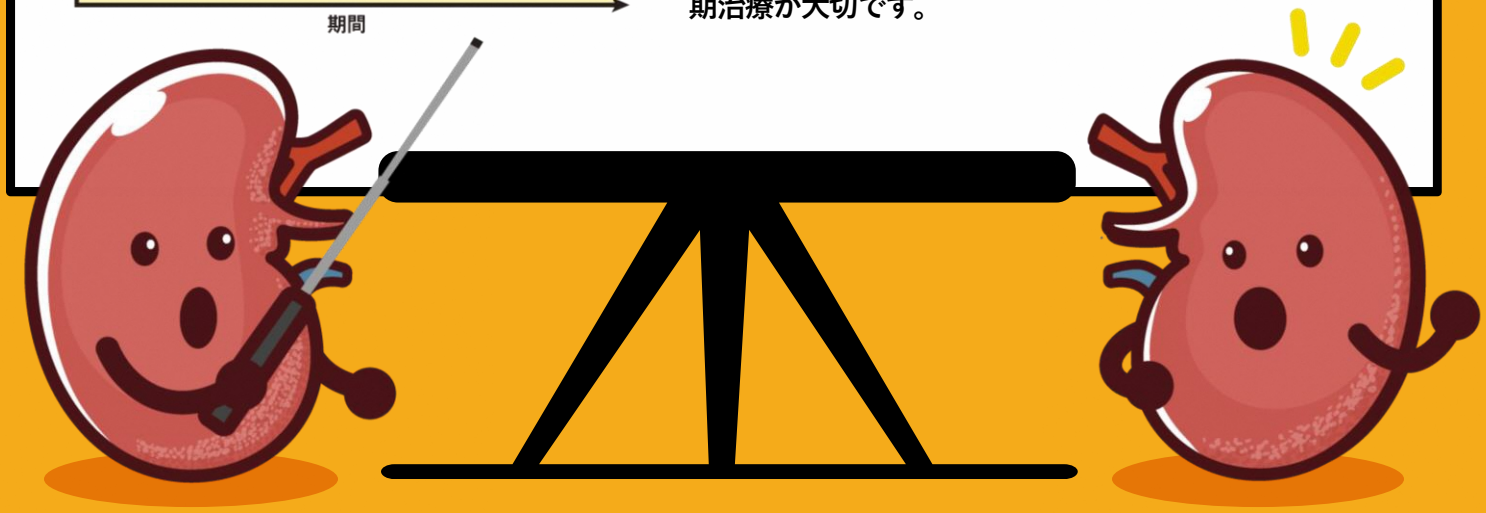
慢性腎臓病〈CKD〉は新たな国民病※とも呼ばれています

早期のCKDは自覚症状がほとんどありません
症状を自覚するときはCKDは進行しているといわれています
放っておかずに医師に相談しましょう

早期治療で腎機能（eGFR）の低下を緩やかに



- CKDになりやすいのは、高血圧や脂質異常症、 糖 尿 病などの疾患や、飲酒や喫煙などの生活習慣、家族歴などの危険因子がある方だということが知られています。
- 適切な治療により、eGFRの低下を緩やかにすることで、腎疾患の進行が抑制される可能性があることが示されています[1)]。
- 症状（むくみ、だるさ、息切れなど）の出現や厳しい食事制限を必要とする段階に至らないよう、早期発見と早期治療が大切です。



※日本では20歳以上のおよそ5人に1人（約2,000万人）がCKD患者と推定されています。
研究代表者 岡田浩一. 厚生労働科学研究費補助金 腎疾患政策研究事業 腎疾患対策検討会報告書に基づく慢性腎臓病（CKD）対策の推進に資する研究. 令和５年度 総括・分担研究報告書（厚生労働科学研究成果データベース）https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/report_pdf/202311001A-sokatsu.pdf（閲覧日：2025年2月12日）
1）日本腎臓学会編　CKD診療ガイド2024

2026年10月作成